

参加要項

1. テーマ:『中国の第3世代 PWR・第4世代炉調査団』
—政策変更とビジネスチャンスに焦点をあてて—
2. 期間:2013年5月19日(日)～5月24日(金) 6日間
3. 中国側主催:China Nuclear Energy Association (CNEA)
日本側主催:一般社団法人 日本技術者連盟(JEF)
4. 団長:松井 一秋 氏 財団法人エネルギー総合工学研究所 研究理事 主席研究員



■略歴

1969年 東京大学工学部原子力工学科卒業
1971年 東京大学大学院工学修士
1971年 呉羽化学工業株式会社入社
1975年 米国ペンシルバニア州立大学大学院
化学工学修士
1980年 エネルギー総合工学研究所入所
現在理事兼主席研究員
国内では日本原子力学会元副会長,
国際的には第4世代国際フォーラムのメンバー,
OECD/NEA の原子力開発委員会委員長
米国原子力学会理事

5. 趣 旨:

2012年10月24日の国務院常務会議では、「原子力発電安全規画(2011-2020年)」と「原子力発電中長期発展規画(2011-2020年)」が再度審議され、承認されました。これに先立つ同10月16日には「原子力安全規画」(「核安全与放射性污染防治“十二五”規劃及2000年遠景目標」)の最終版が公表されており、これによって中国が福島事故後に修正した原子力政策の骨格が明らかになりました。

それによると、福島事故後凍結されていた原子力発電所の建設を再開する一方で、「第12次5か年」期間中(2011～2015年)には、内陸部での原子力発電所には着手しない方針が明らかにされました。さらに、新規に建設される原子力発電所については、世界でも最高の安全を要求し、第3世代炉の安全基準に適合しなければならないとの考えを示しました。

このことは、開発のテンポと国産化のスピードをスローダウンさせても原子力安全の確保を最優先するという中国政府の強い姿勢を示すものだと思います。

原子力発電安全規画と原子力発電中長期発展規画の全文の公表は2013年になるとみられています。福島事故は中国の原子力発電開発政策の大幅な修正をはかることになりました。

日本技術者連盟は、第3世代 PWR 及び第4世代炉開発の主役を務める関係機関を訪問し、新しい政策下における第3世代 PWR の部品の調達ならびに新たな技術ニーズに加えて、世界の最前線に躍り出ようとしている第4世代炉開発の現状を把握するため、2013年5月23日から25日にかけて上海で開催される「第10回中国国際核電工業展覧会」(中国核能行業協会主催)への参加も含めて、標記調査団を派遣することになりました。

6. 訪問先:(予定) ※訪問先は都合により変更する場合がございますので予めご了承ください。

①中国核能行業協会(北京) :

②国家核電技術公司(北京) :

③中国核工業集团公司(北京) :

④三門原子力発電所(AP1000 採用、浙江省) :

⑤中国国際核電工業展覧会(上海で開催) :

⑥上海核工程研究設計院
(AP1000 の国産化、中国版 AP1000「CAP 炉」の設計・開発を担当) :

7. 募集人員:15名 (最少催行人数10名)

8. 参加費:¥630,000- (消費税込)

9. 通訳者:ベテラン適任者(日本語⇔中国語)

10. 添乗員:添乗員は全行程同行いたします。

11. ホテル:一人部屋

12. 旅行主催:万達旅運株式会社 ワンダートラベル

13. 総合事務局:株式会社アジア技術移転機構

14. 申込方法:添付申込書に必要事項記入の上、2013年4月22日(月)までに
FAX(03-6229-1940) 又は E-mail(info@jef-site.or.jp)にてお申込み下さい。
申込み受付後、旅行主催である万達旅運株式会社 ワンダートラベルより、
手続きに関するご連絡をさせていただきます。

15. 代金支払:総合事務局 株式会社アジア技術移転機構より請求書をご送付申し上げます。

一般社団法人日本技術者連盟

〒107-0052 東京都港区赤坂2-2-19 アドレスビル 5F

Tel: +81-3-6229-1946

FAX: +81-3-6229-1940

E-mail: jdota@jef-site.or.jp

URL: <http://www.jef-site.or.jp>

URL: <http://www.jef-site.or.jp/npgef/index.html>

URL: <http://www.wkc21c.org>

中国の第3世代PWR・第4世代炉調査団 日程表 2013年5月19日(日)～5月24日(金) 6日間

※訪問先・発着時間・交通手段等は都合により変更する場合がございますので予めご了承下さい
※飛行機はエコノミークラスを利用します

日次	月・日・曜	都市名	交通機関	現地時間	スケジュール	食事
1	5/19 (日)				出発2時間前より各空港にて各自チェックイン	朝 × 昼 × 夜 ○
		羽田発 北京着	CA-182	14:05 16:45	中国国際航空にて北京へ	
		関西発 北京着	CA-928	13:50 16:00	中国国際航空にて北京へ	
		福岡発 上海(浦東)着	MU-532	9:50 10:30	中国東方航空にて上海経由北京へ	
		上海(浦東)発 北京着	MU-272	14:10 16:40		
				北京空港にて合流 ホテルへ 夕食: 結団式 北京泊		
2	5/20 (月)	北京滞在	専用バス	午前 午後	中国核能行業協会 国家核電技術公司 北京泊	朝 ○ 昼 ○ 夜 ○
3	5/21 (火)	北京 北京発 黄岩着	専用バス CA-1851	午前 14:45 17:05	中国核工業集团公司 国内線にて浙江省賞台州市へ 台州泊	朝 ○ 昼 ○ 夜 ○
4	5/22 (水)	台州 台州 上海	専用バス	午前 14:00 19:00	三門原子力発電所視察 午後上海へ移動(約330km) 上海泊	朝 ○ 昼 ○ 夜 ○
5	5/23 (木)	上海滞在	専用バス	終日	展覧会視察 上海泊	朝 ○ 昼 × 夜 ○
6	5/24 (金)	上海滞在	専用バス	午前 午後	上海核工程研究設計院 昼食後空港へ	朝 ○ 昼 ○ 機内食
		上海(浦東)発 成田着	CA-157	17:20 21:00	中国国際航空にて帰国の途へ	
		上海(浦東)発 関西着	CA-163	17:30 20:30	中国国際航空にて帰国の途へ	
		上海(浦東)発 福岡着	MU-531	18:10 20:50	中国東方航空にて帰国の途へ	

参加費に含まれるもの

- ・ 団体エコノミークラス航空運賃
- ・ 燃油特別付加運賃、空港税等
- ・ ホテル宿泊費(シングルルーム、税・サービス料含む)、一部食事代(日程記載分(機内食含む)、飲み物代は別)
- ・ 運營業務費(プログラム企画・運営費、団長、添乗員同行費)
- ・ 訪問先関係費、報告書作成費など事前研修費(資料費、会場費、講師費等)
- ・ 現地陸上交通費(空港・ホテル・視察先への専用バス代、ガイド代、列車代、チップ代等)
- ・ 通訳料

その他

- ・ 参加費は、2012年12月3日現在の運賃及び15名以上の参加に準拠したもので、ご出発前に参加人員に変更のあった時には、参加費用に変更される場合もありますので予めご了承下さい。
- ・ 尚、申込み後はキャンセルチャージが発生致しますのでご注意ください。

参加費に含まれないもの

- ・ 渡航手続き諸費用(旅券取得費用、渡航手続き取扱い料金等)
- ・ 個人的経費(ホテルにおける電話代、クリーニング代、チップ等)
- ・ 集合時及び解散後の交通費
- ・ 超過手荷物料金(エコノミークラスは20kg以上)
- ・ 任意の海外旅行傷害保険
- ・ 障害・疾病に関する医療費

取り消し料金

◎旅行上の諸費用(航空運賃、ホテル宿泊費、現地地上交通費等)

- ・ 実施日から起算し、さかのぼって30日前以降3日前まで : 費用の20%
- ・ 実施日から起算し、さかのぼって2日前以降1日前まで : 費用の50%
- ・ 実施日当日の取り消しは、全額申し受けます。

◎運營業務費、共通経費等は別途申し受けますので予めご了承下さい。

一般社団法人日本技術者連盟 役員構成

会長	星野 克美	一般社団法人 日本プライバシー認証機構 会長 多摩大学 名誉教授
顧問	岡村 總吾 斎藤 信男 唐津 一	東京電機大学 名誉学長 前国際大学 理事長 工学博士 慶應義塾大学 名誉教授 工学博士 東海大学 名誉教授
理事	井戸田 勲 梶原 豊 浮舟 邦彦 森 和義 佐藤 正文	特定非営利活動法人 日本プライバシーコンサルタント協会 専務理事 高千穂大学 名誉教授 経営学博士 学校法人 滋慶学園 総長 Ph.D. 有限会社森テクノマネジメント 代表取締役 技術士(電気・電子部門、経営工学部門) 社団法人 日・タイ経済協力協会 顧問
監事	田代 空 寺村 康佑	特定非営利活動法人 日本プライバシープロフェッショナル協会 会長 元財団法人 日本人事行政研究所 理事長 株式会社サイバープロ 取締役

一般社団法人日本技術者連盟 委員会 委員構成

『国際原子力発電技術移転機構』委員会

委員長	佐々木宜彦	財団法人発電設備技術検査協会 理事長
顧問	野々内 隆 逢坂 國一 荒井 利治 宅間 正夫	財団法人経済産業調査会 理事長 社団法人日本電気技術者協会 会長 社団法人日本原子力学会 シニアネットワーク 副会長 社団法人日本原子力学会 シニアネットワーク 会長
委員	池本 一郎 小川 順子 金氏 顯 河原 暲 佐川 渉 関村 直人 津山 雅樹 富岡 義博 新田 隆司 藤井 靖彦 宮野 廣 諸葛 宗男	財団法人電力中央研究所 特別顧問 博士(エネルギー科学) 東京都市大学准教授/女性研究者支援室長 WIN-Japan 会長 社団法人日本原子力学会 シニアネットワーク 代表幹事 元社団法人日本原子力学会 会長 社団法人日本技術士会 理事 技術士 工学博士 東京大学大学院 工学系研究科 原子力国際専攻 教授 工学博士 社団法人日本電機工業会 原子力部長 電気事業連合会 原子力部長 日本原子力発電株式会社 前常務取締役 東京工業大学名誉教授 工学博士 特定非営利活動法人日本保全学会 特別顧問 法政大学 客員教授 東京大学公共政策大学院 特任教授

『アフリカ・中東技術者フォーラム』委員会

委員長	森 和義	一般社団法人 日本技術者連盟 理事 技術士(電気電子部門、経営工学部門)
委員	畑尾 成道 坂倉 省吾 島 直 佐藤 正文 小泉 英雄 鄭 紹良 井戸田 勲	技術士(建設部門、総合技術監理部門) 財団法人海外技術者研修協会 理事 工学博士 ICTコンサルタント・前GBDe消費者信頼委員会 筆頭シェパ 前 財団法人 海外技術者研修協会 理事 社団法人 日・タイ経済協力協会 専務理事 技術士(電気電子部門) 台湾總統府 科学技術諮問委員会 委員 国家実験研究院 ボードディレクター 無任所大使、工学博士・PE 一般社団法人 日本技術者連盟 専務理事
海外委員	AOTS各国同窓会メンバーよりご依頼中・順不同	
アジア地区	Himpunan Alumni AOTS Indonesia Persatuan Alumni AOTS Malaysia AOTS Vietnam Alumni Society (AVAS) ABK & AOTS Alumni Association (Thailand)	
中東地区	Association of Iran's Japan Alumni (AIJA)	
アフリカ地区	AOTS Alumni Society, Cameroun (AOTSA-CAMEROUN) AOTS Alumni Society, Egypt AOTS Alumni Association - Ghana AOTS Alumni Society of Tanzania The AOTS Alumni Society of South Africa	

総合事務局 : 株式会社アジア技術移転機構 (Asia Technology Transfer Organization, Inc. (ATTO))

〒107-0052 東京都港区赤坂2-2-19 アドレスビル5F TEL : 03-6229-1950 URL : <http://www.atto-asia.jp>

お申込みは別紙に必要事項をご記入の上、事務局までFAX(03-6229-1940)又は郵送でお送り下さい。